

労働市場の概要（平成22年4月）

岡山労働局 職業安定課
Tel 086-801-5103

雇用情勢

4月の有効求人倍率(季節調整値)は、前月より0.02ポイント上昇し 0.64倍となった。(原数値比較では前月より0.05ポイント低下した。)

これを求人・求職の内訳でみると、前月と比較して、有効求人数(季節調整値)が4.1%増加し、有効求職者数(季節調整値)も1.4%増加した。

4月の新規求人数は、前年同月と比較(原数値)すると、主な産業では、建設業(5.4%減)、卸売・小売業(14.9%減)、生活関連サービス業・娯楽業(10.1%減)の産業で減少している。一方、急激に減少した前年との比較等から、製造業(18.4%増)、情報通信業(130.5%増)、運輸業・郵便業(33.5%増)、学术研究・専門技術サービス業(60.3%増)、宿泊業・飲食サービス業(32.2%増)、医療・福祉(14.8%増)、サービス業(他に分類されないもの)(3.2%増)と増加した産業も多くみられ、全体では対前年同月比10.3%増と平成19年10月以来2年6ヶ月ぶりに増加に転じた。

新規求職は、大幅な増加となった前年同月比で1.5%減と5ヶ月連続で減少した。

この結果、有効求人倍率(季節調整値)は、前月より0.02ポイント上昇したものの、依然低水準であり県内の雇用情勢は厳しい状況が続いている。

1 有効求人倍率(季節調整値)

4月の有効求人倍率は0.64倍となり、前月より0.02ポイント上昇した。

[過去最低:昭和38年1月の0.51倍]

(1)有効求人(パートを含む)

○ 4月の有効求人は26,196人で、対前年同月比(原数値比較)で0.5%減少し、対前月比(季節調整値比)では4.1%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で30ヶ月連続して減少した。

(2)有効求職(パートを含む)

○ 4月の有効求職は45,025人で、対前年同月比(原数値比較)で5.9%減少し、対前月比(季節調整値比較)では1.4%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で3ヶ月連続での減少となった。

(3)4月の正社員の有効求人倍率は0.37倍(原数値)となった。

2 新規求人倍率(季節調整値)

4月の新規求人倍率は1.05倍となり、前月より0.01ポイント上昇した。

(1)新規求人(パートを含む)

○ 4月の新規求人は10,701人で、対前年同月比(原数値比較)で10.3%増加し、対前月比(季節調整値比較)でも4.6%増加となった。

○ 対前年同月比(原数値比較)では30ヶ月ぶりに増加に転じた。

○ **産業別新規求人状況(対前年同月比)は、**

▲建設業	5.4%の減少	学術・専門技術サービス	60.3%の増加
製造業	18.4%の増加	宿泊・飲食サービス業	32.2%の増加
情報通信業	130.5%の増加	▲生活関連サービス業・娯楽業	10.1%の減少
運輸業・郵便業	33.5%の増加	教育・学習支援業	22.9%の増加
▲卸売・小売業	14.9%の減少	医療・福祉	14.8%の増加
▲金融・保険業	2.4%の減少	サービス業	3.2%の増加
不動産業・物品賃貸業	191.4%の増加	公務、その他	3.0%の増加

(2)新規求職(パートを含む)

○ 4月の新規求職は13,844人で、対前年同月比(原数値比較)で1.5%減少し、対前月比(季節調整値比較)では、3.1%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)は5ヶ月連続で減少した。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は522,589人で、対前年同月比1.9%の増加となり、4ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は、10,578人で対前年同月比は31.3%減少し、受給率は2.0%で前月より0.1ポイント上昇した。